

【注意】「転移性腫瘍と診断された腫瘍」と「病理組織学的検査にて再発と診断された腫瘍」は、下記の多重がんルールを適用しない。

詳細は、「固形腫瘍における多重がんルール適用対象判定資料」を参照のこと（<https://ncc.ctr-info.com/text/>）。

<皮膚黒色腫>

C440-C449 かつ 組織型コード8720-8780 (皮膚以外の悪性黒色腫を除く)

腫瘍数	ルール	項目内容		決定	備考
不明	M1	単一腫瘍か複数腫瘍かが不明	⇒ はい	単発	注:すべての情報を使用しても不明な場合に適用
	↓いいえ				
単一	M2	単一腫瘍	⇒ はい	単発	
	↓いいえ				
複数	M3	ICD-O局在コード2~4桁目 (CXXX) が一致しない	⇒ はい	多重	
	↓いいえ				
	M4	左右の側性が異なる	⇒ はい	多重	注: 正中は左右とは側性が異なると判定する 《例》胸部正中と右胸部 → 多重 《例》右胸部と左胸部 → 多重
	↓いいえ				
	M5	ICDD-O形態コード上位3桁が一致しない	⇒ はい	多重	
	↓いいえ				
	M6	上皮内癌診断後60日を越えた後に浸潤癌が診断された	⇒ はい	多重	注1: 本ルールの目的は、浸潤癌が罹患数からもれないよう設定した。 注2: 医師の診療録で「再発」、「増悪」とされても、多重として登録する
	↓いいえ				
M7	複数腫瘍が60日を越えた間隔で診断された	⇒ はい	多重		
↓いいえ					
M8	M1~M7の条件に合致せず	⇒ はい	単発	注1: 上皮内癌診断後、60日以内の浸潤癌は単発と判断する。 注2: 同一部位で同一組織型の複数腫瘍は単発として扱う。 《例1》左背部(C44.5)の孤立性黒色腫と左胸部(C44.5)の孤立性黒色腫を有する場合、単発として扱う。 《例2》右大腿部(C44.7)の孤立性黒色腫と右足首(C44.7)の孤立性黒色腫を有する場合、単発として扱う。	